

kaise

ラインセパレーター

取扱説明書

MODEL 880

KAISE CORPORATION

安全な測定をするために!!

感電事故を防止して安全な測定をする為に、説明書をよく読んでからラインセパレーターを使って下さい。特に説明書の中の⚠️記号のついている所は重要です。

⚠️ この記号は、IEC規格及びISO規格に定められている記号で、『説明書をよく読んでからラインセパレーターを使って下さい。』ということを示しています。

⚠️ **警告** この表示は、その内容を守らずに誤った取り扱いをすると、『人が死亡又は重傷を負う可能性があること』を示しています。

⚠️ **注意** この表示は、その内容を守らずに誤った取り扱いをすると、『人が負傷したり、物的損害を発生させる可能性があること』を示しています。

⚠️ 警告

強電回路の測定は非常に危険です。このラインセパレーターは、250V以上の電源(電路)には使用しないこと、消費電流は15A以下であることを厳守して下さい。

測定中は、ラインセパレーター本体を手には持たないこと。電源に身体のかかる部分も接触しないようにご注意下さい。

一般家電製品、事務機器、工業用電気機器等の消費電流(交流電流)を測定する場合、入力線が二芯の電源コードでは、クランプメーターでクランプしても電流は測定できません。ラインセパレーターを使用すると、このような場合でも簡単に電流を測定でき、また、電圧測定も可能です。

1. 仕様

- 1. 感度倍率 : 1倍(x 1)、10倍(x 10)
- 2. 定格電流(消費電流) : AC 12A (連続使用可能)、AC 15A (30分以内)
- 3. 定格電圧 : AC 300V (強電電源は250V以下)
- 4. 寸法・重量 : 165(H) x 60(W) x 18(D) mm, 180g
- 5. 適用機種 : SK-7615、SK-7708、SK-7718、その他クランプメーター

2. 安全測定と使用上の注意

人体への感電事故防止のために、次の事項を厳守して安全な測定をして下さい。

1. ラインセパレーター本体のチェック

⚠️ **警告**:ラインセパレーター本体にひび割れがないかどうか? 表面が湿っていたり、濡れていないかどうか? ラインセパレーターは常にきれいに、乾いた状態で使ってください。

2. 250V以上の強電電源への使用禁止

⚠️ **警告**:このラインセパレーターの定格電圧は300Vですが、250V以上の強電電源(大型モーター、配電用トランス、プスパー等、電気容量の大きい工場内外の動力線)には使用できません。

250V以下でも、強電回路は非常に危険ですので、感電しないように十分注意して測定して下さい。

3. 消費電流は15A以下、通電時間は30分以内を厳守

⚠️ **警告**:このラインセパレーターは、消費電流が15A以下の電気機器にしか使用できません。12Aから15Aまでの電流を測定する場合、通電時間は30分以内を厳守して下さい。また、定格電流が15Aを超えた機器、または故障等により15A以上の電流を消費する電気機器には使用しないで下さい。いずれも過熱と火災の原因となります。

4. プラグの接続を確認すること

⚠️ **警告**:ラインセパレーターのプラグは電源コンセントにしっかり差し込み、測定する機器のプラグもラインセパレーターにしっかり差し込んで下さい。プラグが抜けると感電事故につながる危険性があります。

5. 電圧測定についての警告

⚠️ **警告**:危険性の高い電圧回路(強電250V以下、または弱電300Vまで)を測定する時は、クランプメーターの取扱説明書を良く読んで、安全に測定して下さい。

6. 定期点検を自主的に行うこと

⚠️ **警告**:ラインセパレーター本体にひび割れや絶縁不良がないよう、定期的に点検して下さい。破損箇所が見つかりましたら、製造元へ修理を依頼して下さい。修理品は下記住所へご送付下さい。

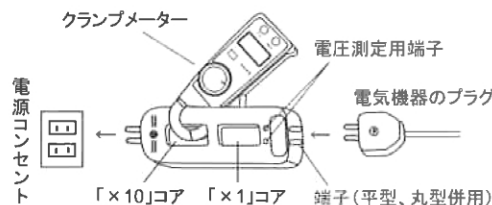
3. 測定方法

3-1. 電流測定

1. ラインセパレーターを電源コンセントに差し込みます。
2. 測定する機器の電源スイッチをOFFにします。
3. 測定する機器のプラグをラインセパレーターの端子にしっかり差し込みます。
⚠️ **警告**:測定する機器の消費電流が15A以下であることを確認して下さい。
4. クランプメーターのレンジ(パワー/ファンクション)スイッチを、15Aが測定できる適切なレンジに合わせます。
5. ラインセパレーターの「×1」または「×10」コアをクランプメーターでクランプします。
6. 測定する機器の電源スイッチをONにします。指示値を読み取ります。
注:「×1」コア使用時は指示値を直読し、「×10」コア使用時は $\frac{1}{10}$ 倍して読み取ります。
「×10」コアを使用すると、実際に流れている電流の10倍の値が表示されますので、クランプメーターでは測定できない低電流の測定に便利です。
「×1」、「×10」コアは、AC 15A以下(30分以内)でご使用下さい。

3-2. 電圧測定

1. 電流を測定している状態(上記「3-1-5.」の状態)で、クランプメーターをラインセパレーターのコアから外します。
2. クランプメーターのCOM端子にテストリードの黒色テストプラグを、V端子に赤色テストプラグを差し込みます。
3. クランプメーターのレンジ(パワー/ファンクション)スイッチを、交流電圧の適切な位置に合わせます。
4. テストリードの黒色と赤色のテストブロードを、ラインセパレーターのVOLT TEST端子に差し込み、指示値を読み取ります。
注:ラインセパレーターのプラグに既製の丸型プラグを接続すると、丸型コンセントにもご使用いただけます。本器の端子は、平型プラグと丸型プラグの両用となっています。



カイセ株式会社

営業部サービス係
〒386-0156 長野県上田市林之郷422
TEL(0268)35-1600 / FAX(0268)35-1603
Email: service@kaise.com
http://www.kaise.com